

気候情報

2020年6月の日本の天候

- 気温は、全国的にかなり高かった
- 降水量は、沖縄・奄美でかなり多かった
- 日照時間は、東日本日本海側でかなり多かった

6月の天気概況

北・東・西日本では、上旬を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、中旬は梅雨前線が本州付近に停滞しやすく、曇りや雨の降る日が多かった。沖縄・奄美では、上旬は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多かった。一方、梅雨前線の活動が一時的に活発となって、沖縄・奄美と西日本では土砂災害や浸水害を伴う大雨となった所があった。気温は、太平洋高気圧が日本の南海上で西へ張り出し、日本付近には暖かい空気が入りやすかったため、全国的にかなり高かった。

上旬：北・東日本と西日本日本海側では、高気圧に覆われて晴れの日が多かった。その一方で、沖縄・奄美と九州南部では活発な梅雨前線の影響を受けた時期があり、8日には沖縄県で浸水害が発生するなど、大雨となった所があった。気温は、全国的にかなり高かった。なお、10日ごろには中国地方、近畿地方、東海地方で梅雨入りしたとみられる（速報値）。

旬平均気温は、全国的にかなり高かった。

旬降水量は、沖縄・奄美でかなり多かった。一方、東日本太平洋側と西日本日本海側でかなり少なく、北日本と東日本日本海側、西日本太平洋側で少なかった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側と東日本日本海側でかなり多く、北・西日本日本海側と東日本太平洋側で多かった。西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

中旬：沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。一方、梅雨前線は本州付近に停滞しやすく、低気圧が沿海州から北海道付近を通過しやすかったため、北・東・西日本では曇りや雨の日が多く、大雨となった所もあった。気温は全国的にかなり高かった。なお、12日ごろには沖縄地方で梅雨明けしたとみられる（速報値）ほか、11日ごろには九州北部地方、関東甲信地方、北陸地方、東北南部で、14日ごろには東北北部で梅雨入りしたとみられる（速報値）。

旬平均気温は、全国的にかなり高かった。

旬降水量は、東・西日本でかなり多く、北日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なかった。北日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり多かった。一方、西日本太平洋側でかなり少なく、北・東・西日本日本海側で少なかった。北・東日本太平洋側では平年並だった。

下旬：太平洋高気圧が日本の南海上で西へ張り出

し、オホーツク海でも高気圧が明瞭だった。梅雨前線は期間のはじめは奄美地方付近に、その後は本州南岸付近に停滞しやすかった。また、梅雨前線の活動が活発となって25日には長崎県で土砂災害が発生するなど、大雨となった所もあった。

旬平均気温は、東・西日本と沖縄・奄美で高かった。北日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本と東日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。一方、東日本日本海側で少なかった。西日本では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、北日本と沖縄・奄美でかなり少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

6月の気候統計

月平均気温：全国的にかなり高かった。

月降水量：沖縄・奄美でかなり多く、北日本日本海側と東日本太平洋側、西日本で多かった。北日本太平洋側と東日本日本海側では平年並だった。

月間日照時間：東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。一方、北日本日本海側で少なかった。北・西日本太平洋側では平年並だった。

（気象庁観測部情報管理室）

—— 6月の記録（1位更新のみ、タイ記録含む） ——

- ・月平均気温高い方から（℃）
洲本（兵庫県）23.8など50地点
- ・月降水量少ない方から（mm）
仙台（宮城県）43.5

2020年6月の平年差（比）図

